



立科町 議会だより

目次

予算特別委員会	p2~4
議案審議報告	p5~7
常任委員会報告	p8~9
町民の声	p10
一般質問	p11~15
議会の動き／編集後記	p16

桜花爛漫

(2020年度)
令和2年度
予算特別
委員会

両角町長

予算特別委員会を設置し令和2年度各会計予算を審査

- 一般会計予算総額 43億1,000万円
- 特別会計・公営企業会計予算総額 34億 506万円

1の分野

「住んでみたい、産み育てたいと思える町づくり」

1 U・I・Jターン促進事業新築住宅補助金の内容は？

A 移住者にターゲットを絞り、年齢・扶養・町内での就職等の要件により新築時に最大150万円を補助。

Q ふるさと寄附金の返礼品、見直しは？

A 「モノ」だけでなく「コト」による体験型返礼品を設け寄附金増に繋げたい。返礼品として「立科ゴルフクラブプレー券」が追加された。

2 なぜ、英語と漢字の検定助成金なのか？

A 実際に中学校で実施している検定であるから。数学も要望があれば検討していきたい。



2の分野

「安心・安全で持続可能な町づくり」

3 庁舎のエレベータ設置はどのように？

A 6人乗りが現実的か。1～4階。4月から設計し、11月ころ設置予定3500万円。



エレベーター設置予定場所
(庁舎階段横)

Q 新規事業の「宅地耐震化推進事業」は。

A 盛り土造成地崩落で宅地が被害を受けないよう専門家により19か所のランク付けする。

Q 「権現の湯」厨房施設の改修費約248万円は？

A 厨房の配置換えにより安全で効率的な作業動線を確認し、待ち時間の短縮で来客増に繋げる。



改修予定の権現の湯の厨房

Q 農業振興公社の新商品開発とは？

A みそ豆腐用の大豆とスープ用カボチャの作付けを新たに行う予定。

Q 障がい者福祉費が1千万円増えているが？

A 施設入所者が増えている。来年度早々に何名か入所予定のため。

「初」予算の焦点

「3つの主要政策」はどのように予算化されたか？

【3つの重点項目】 (○印質疑の記事あり)

1、「住んでみたい、産み育てたいと思える町づくり」

- ・移住促進事業新築住宅補助金制度を拡充 ①へ
- ・小中学生の英語・漢字検定 ②へ
- ・広報物委託事業…首都圏企業者の町内移住促進
- ・新生児聴覚検査助成金制度
- ・ロタウイルス感染症予防接種

2、「安心・安全で持続可能な町づくり」

- ・役場庁舎にエレベーター設置 ③へ
- ・ため池ハザードマップ ④へ
- ・河川の氾濫危険個所の整備工事 ⑤へ
- ・骨髄等ドナー支援事業助成金

3、「豊かな資源を活かした町づくり」

- ・観光地のトイレ2か所改修工事 ⑥へ
- ・企業誘致奨励金の新設 ⑦へ
- ・遊歩道・街路灯などの修繕工事



カタクリ

【その他】

- 新クリーンセンター稼働・ごみ減量化事業 ⑧へ
- ウガンダ共和国のホストタウン事業
- 立科町合併65周年事業
- 温井水源地周辺立ち入り防止柵設置
- 蓼科高校の支援事業



令和2年第1回定例会は、3月4日から18日までの会期で開かれた。条例の制定、補正予算及び新年度予算などを審議し、原案のとおり可決した。

令和2年 第1回 定例会

・ 条例の制定

◇地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について

可決 地方公務員法の改正により令和2年度から移行する会計年度任用職員制度に係る関係条例の一部改正により制定。

立科町職員定数条例、職員の分限に関する条例ほか、8条例の一部を改正。

◇立科町課等設置条例等の一部を改正する条例

可決 町の組織改編に伴う関係条例の改正。

・「建設課」
・「建設環境課」
・「観光商工課」
・「観光課」

◇一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

可決 令和元年長野県人事委員会勧告に準じて一般職の職員の給料表等を変更する。民間給与等の格差をなくすため、特に若年層の給料月額を引き上げるもの。

◇立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

可決 成年被後見人の印鑑登録に関する資格基準が改善されたもの。

◇災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

可決 災害弔慰金等を支給する際に有識者による支給審査会を設置する旨を明文化したものである。

◇立科町観光施設条例の一部を改正する条例

可決 観光施設の名称を変更するもの。



新名称 女神湖体育館

・「蓼科ふれあいセンター」
・「女神湖体育館」

**令和元年度
補正予算**

一般会計補正予算（第6号）ほか6特別会計補正予算及び1公営企業会計補正予算を原案どおり可決した。

4 ため池ハザードマップの概要は？

A 土地改良区が行う事業に対する補助金で、ため池が決壊した場合のシミュレーションを掲載する地図作成を行う。



修復された真蒲池

5 河川維持管理経費の修繕、今年はどこか？

A 蟹原川と牛鹿川の改修を予定。



大雨で崩れた護岸の牛鹿川

Q グリーンベルト設置はどこか。

A 「宮地が丘団地から中学校へ向かう道路」の左側に区画線を引き緑色に塗る。

Q 多面的機能支払い交付金が減っているが？

A 令和元年度と比べ、1つの組織が継続できなくなり、断念した。高齢化により申請書など事務仕事ができなくなったため。

Q 事務を支援してもらえば継続できるのでは？

A 事務局の在り方を検討する。

Q 第8次町福祉計画策定で、施設整備の計画はあるか。手狭になっているのではないかと？

A 予定はない。国県の指導として在宅に戻ってもらう地域移行になっている。入所者が増えることについては町として今後の課題でもある。

令和3年度からの計画を今年策定する



3の分野

「豊かな資源を活かした町づくり」

6 牧場トイレ改修2か所の金額の内訳と金額の妥当性は？

A 蓼科牧場大駐車場公衆トイレ改修3115万円／蓼科第二牧場公衆トイレ改修2025万円（税抜き。）金額の妥当性については設計士に確認しており基準通りの積算である。



建て替え予定の蓼科牧場大駐車場トイレ



全面改修される蓼科第二牧場トイレ

7 企業誘致奨励金の条件は？

A 事業所の新築及び増設等であること。常時雇用人員が5人以上、環境保全に適切な措置を講じ、所得価格1千万円以上であること。以上のすべての条件を満たす事業者に対し、施設及び設備に対して賦課される固定資産税相当額を5年間交付することができる。

8 ごみ減量化啓発とは？

A 4月から出前講座等を積極的に行う予定。出席者に対して生ごみの水切り用具等を配布し啓発に努める。三角コーナーに入れられた生ごみの水を絞れる用具があるので紹介し活用してもらう。



議決事件

◇立科町道路路線の一部廃止について

可決 町道野方中居線「中居交差点」から「白樺高原入口交差点」までを長野県へ移管するもの。(延長394.5m)

◇立科町道路路線の認定について

可決 主要地方道諏訪白樺湖小諸線「芦田中央交差点」から「和子バイパス交点」までの間を

立科町へ移管するもの。(延長516.9m)

同意案件

◇蓼科・中尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の同意を求める件

同意 令和2年度から4年度までの事業計画として5事業に改めるもの。

◇立科町固定資産評価審査委員会委員選任について同意を求める件

同意 立科町固定資産評価審査委員会委員に中澤 邦雄氏(桐原)

◇人権擁護委員の推薦

発議

◇立科町議会委員会条例の一部を改正する条例制定

可決 課等設置条例の改正に伴い、常任委員会会の所管する課の改正をするもの。

第1回臨時議会

令和2年1月23日臨時議会が開かれ、令和元年度一般会計補正予算(第6号)を原案のとおり可決した。
災害復旧事業費4058万6千円が主な補正内容。

討論

◇原案に賛成

今回の予算は、両角町長が就任後、初めて編成した予算で、編成にあたり、3つの重点指針を上げた。(P254参照)
生み育てる施策では、「新生児聴覚検査助成金」が新設され、教育面では、小中学生の英語検定。漢字検定の一部助成金が予算計上された。

消防費は、ため池のハザードマップ作成がされる事となり、防災・減災対策として期待する。
役場庁舎内にエレベーター設置は、役場庁舎に訪れる多くの来庁者の為のバリアフリー化等に繋がるものである。

更に、新規に「骨髄等ドナー支援事業助成金」を創設し、骨髄提供者に対しての助成が予算化された。

貴重な税金を有効に活用し、町民が安心して心豊かに暮らすことが出来る舵取りを大いに期待

◇原案に賛成

し、賛成討論とする。

川西赤十字病院は医師の確保(常駐医師2人から5人に)と経営努力を

続けており、診療科目も9科目を備え入院患者数は増加している。包括ケア病床もH27年度の8床からH31年度では30床に。在宅で暮らしていかれるまでの医療と介護のケアを保証している。

利用者は年間のべ入院5500人近く、外来3800人近く。当町は全体の2割以上を占める。また訪問看護や訪問リハビリにも力を入れ、在宅での治療・療養を可能にし、住民の暮らしと健康



川西赤十字病院

◇原案に反対

を支える大切な役割があり、なくてはならない病院である。縮小・統廃合に強く反対し、意見書に賛成する。

令和2年度後期高齢者医療制度特別会計予算に反対する。

令和2年度の同会計は、当町の75歳以上の13550人が対象であり、歳入増を見込むが、保険料所得割を8.43%(これまで8.3%)に引き上げ軽減も縮小する。

軽減率が「8.5割から7.27割」に218人、「8割から7割に」が425人、と対象者の約半数の方の保険料が引き上げられる。年金が減り続ける中での保険料引き上げであり認められない。

2年ごとに負担割合を引き上げ保険料は上がり続ける。国の制度改悪に対し、何らの支援策も考えられておらず反対する。

請願・陳情の審査結果

受理番号	受理年月日	件名	提出者	付託委員会	結論
請願第1号	令和2年2月3日	免税軽油制度の継続を求める請願書	株式会社池の平ホテル&リゾート 代表取締役社長 矢島 義擴	総務経済常任委員会	採択 全会一致
陳情第1号	令和元年12月12日	川西赤十字病院存続と充実を求める陳情書	NPO法人未来工房もちづき 理事長 吉川 徹	社会文教建設常任委員会	採択 全会一致
陳情第2号	令和2年2月10日	妊婦を対象とした歯科健康診査の実施を求める陳情書	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫	社会文教建設常任委員会	採択 全会一致

*結論は付託委員会のもの。本会議に於いていずれも全会一致により採択となった。
*採択された請願第1号及び陳情第1号は、国に対してそれぞれ意見書を提出。

各議員の賛否結果(賛否の分かれたもの ○賛成 ●反対) ※議長は表決に加わらない。

議案番号	議案名	今井健児	芝間教男	中島健男	中村茂弘	今井英昭	森澤文王	今井清	村田桂子	田中三江	瀧澤壽美雄	榎本真弓	結果
議案18	令和2年度立科町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
議案19	令和2年度立科町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

議会だよりの表紙の写真を募集します

立科町議会が発行する議会だよりの表紙に掲載する写真・絵画を募集します。年4回発行の議会だよりは、町内だけでなく近隣市町村や友好都市にも送られます。立科町の魅力を紹介・発信する議会だよりにしたいと思っています。ぜひ、あなたの写真をご紹介ください。お待ちしております。

応募用紙は議会ホームページからダウンロードできます。

- 1. 応募内容**
「私の町立科」をテーマとする写真または絵画
- 2. 応募資格**
立科町内に在住、町内に在勤・在学している方(年齢は問いません。どなたでも大歓迎です。)
- 3. 応募条件**
 - (1) 写真には、撮影日時、場所を明記のこと。また写真に込めた思いなどのコメントを100字以内で添付願います。応募作品の返却はしません。
 - (2) 被写体は、風景・人物は問いませんが、被写体の承諾を得たものに限りです。
 - (3) 営利目的の宣伝・広報活動、政治・宗教活動などの目的での応募はできません。
 - (4) 未発表・未公開のものとしします。
 - (5) 応募作品の著作権は立科町議会に帰属します。
- 4. 応募方法**
応募用紙に必要事項を記入し、画像データ(JPEG形式など)で議会事務局へ提出。

- 5. 採用及び連絡**
 - (1) 応募作品は、議会だよりの編集委員会が採用の可否を決めます。
 - (2) 採用者には、掲載が確定した後、議会だよりの編集委員会より連絡をします。なお、応募者全員には連絡はしません。
- 6. その他**
 - (1) この募集において取得した個人情報は、本目的以外には使用しません。ただし、議会だよりに掲載する場合は、お名前公表をします。
 - (2) 応募にかかる費用は、応募者の負担とします。
- 7. 問い合わせ先**
立科町議会事務局(議会だよりの編集委員会)
〒384-2305 立科町大字芦田2532番地
Tel.0267-88-8413(直通)
E-mail:gikai@town.tateshina.nagano.jp

社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・教育委員会・建設課
 委員長／森澤文王 副委員長／今井健児
 委員／榎本真弓 瀧澤壽美雄 村田桂子 芝間教男

3月11日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

Q 子どもの子育て支援交付金について、補正の内容は何か。
A 10月からの幼児教育無償化に伴う補正である。国の算定基準により配当されるため、町の支出より多い配当が見込まれる。

Q 令和元年度立科町一般会計補正予算(第6号)について
A 従来「成年被後見人」記載が「意思能力を有しない者」に変わったがどういふことか。
A 成年後見人が同席し申請を行なった場合は、意思能力を有すると解釈する事が出来るようになった。

Q 立科町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について
A 従来「成年被後見人」記載が「意思能力を有しない者」に変わったがどういふことか。
A 成年後見人が同席し申請を行なった場合は、意思能力を有すると解釈する事が出来るようになった。

Q 従来「成年被後見人」記載が「意思能力を有しない者」に変わったがどういふことか。
A 成年後見人が同席し申請を行なった場合は、意思能力を有すると解釈する事が出来るようになった。

Q 社会教育施設災害復旧費について、場所はどこか。
A 権現山運動公園西側津金寺側の法面設計委託料。工事は令和2年度となる。

Q 蟹原川になる。災害の箇所は、日常生活に支障があり田畑に支障がある所は計上済みである。
A 土木災害復旧費補正所はどこか。

Q プレミアム商品券について、売れ残りが多いため、購入するにも資金が必要。もっと安くならないか。
A 販売対象者が非課税世帯・子育て世帯に限定された事が売れ残りの原因として考えられる。対象者には通知も有り、有線・回覧版等で啓発も行なっている。金額は国の基準により実施。

Q 学校の関係等のコロナウイルス対策について、補正予算に無いがどうなっているか。
A 手の消毒剤等は在庫の中で活用。マスクは予算があっても買えない状況。町内で発生すれば消毒等で補正も必要と考える。

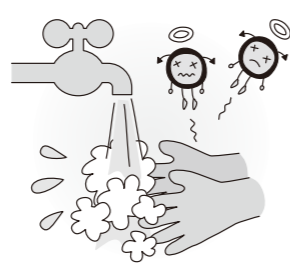
Q 学校関係等のコロナウイルス対策について、補正予算に無いがどうなっているか。
A 手の消毒剤等は在庫の中で活用。マスクは予算があっても買えない状況。町内で発生すれば消毒等で補正も必要と考える。

Q 令和元年度立科町水道事業会計補正予算(第5号)について
A 県からの災害救助費負担金について、何が対象となったか。
A 給水が対象となつた。使われた支出は、水道事業会計経費より、職員の超勤、旅費、給水袋購入の経費等である。

Q 令和元年度立科町一般会計補正予算(第6号)について
A 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。
A 地域おこし協力隊経費の減額理由は、年度途中に一名退任したため。
Q 権現の湯事業経費の増減について。
A ヒートポンプが故障したため、電気代が増減となり燃料代が増減した。

Q 権現の湯事業経費の増減について。
A ヒートポンプが故障したため、電気代が増減となり燃料代が増減した。



台風19号の被害状況とその後



権現山運動公園西側崩落



復旧前



復旧後

蟹原川の崩落現場(蟹原地区)

総務経済常任委員会

所 管 総務課・企画課・農林課・観光商工課・会計室・議会事務局
 委員長／今井 清 副委員長／今井英昭
 委員／森本信明 田中三江 中村茂弘 中島健男

3月11日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。



Q 立科町観光施設条例の一部を改正する条例制定について
A 改正の概要は、女神湖周辺に類似する名称の施設があるので区別するため、「蓼科ふれあいセンター」を「女神湖体育館」へ変更する。

Q 建設課・建設環境課
A 建設課・建設環境課
A 建設課・建設環境課

Q 立科町課等設置条例等に関する条例の一部を改正する条例制定について
A 改正の概要は、たばこ税の増額の理由は、決算見込みにより増額とした。

Q 立科町課等設置条例等に関する条例の一部を改正する条例制定について
A 改正の概要は、たばこ税の増額の理由は、決算見込みにより増額とした。

Q 令和元年度立科町一般会計補正予算(第6号)について
A 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 地域おこし協力隊経費の減額理由は、年度途中に一名退任したため。
Q 権現の湯事業経費の増減について。
A ヒートポンプが故障したため、電気代が増減となり燃料代が増減した。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

Q 職員の機器は自動集計ができない。当初は集計を職員で行う予定だったが、作業に時間がかかり外注しても費用が高額になるため、集計できる機器に更新する。

活動報告・行政視察

◎立科土地改良区との意見交換会
 日時：2月26日(水)
 出席者：立科土地改良区理事4名、事務局1名、農林課係長、総務経済常任委員6名



台風19号災害と県営かんがい排水事業についての意見交換会を行った。台風19号災害については、今年度の稲作ができるように仮設復旧を行う。
 県営かんがい排水事業については、台風19号災害の影響で事業が遅れる見込み。

質問項目

今定例会では、9名が一般質問しました。

田中 三江 議員 11ページ

- ①台風19号被害対策は

中村 茂弘 議員 12ページ

- ①町道等の道路標示について
- ②高齢者の免許証返納者への対応について
- ③台風19号の災害ごみの対応について

今井 清 議員 12ページ

- ①土地利用計画と企業誘致について

中島 健男 議員 13ページ

- ①町長の重点方針の具体的な実施について
- ②新クリーンセンター稼働開始と川西清掃センター閉鎖に伴う分別・収集について

今井 英昭 議員 13ページ

- ①行政運営の在り方について
- ②福祉行政に関する諸課題について

村田 桂子 議員 14ページ

- ①町民の命と健康を守るために
- ②可燃ごみの減量と資源化を
- ③持続可能社会を作るうえでのエネルギー戦略策定を

森澤 文王 議員 14ページ

- ①移住・定住政策について

今井 健児 議員 15ページ

- ①権現山エリアの活性化について

榎本 真弓 議員 15ページ

- ①地方公会計の活用のあり方、施設別・事業別セグメント分析について

※太字の質問を掲載。
議事録は議会ホームページで閲覧できます。

問 被害状況と今後の復旧・復興は、梨の木橋が崩落、国の補助事業で復旧工事を行う、開始は令和2年秋頃からの見込み。これは現在の橋梁指針に基づき国への変更協議が必要であり、橋梁の設計を行うため時間がかかる、護岸工事も行うので協議していく。そのほか町道2路線と2河川は4月に発注、令和2年度中の完了予定。

町長 町単独事業の町道や河川100ヶ所はこの3月中に完了予定。しかし河川は濁水期の工事のため11月頃になる所も、国の補助事業の頭首工・水路・農業用施設等



田中 三江

答

順次進めている、早期復旧に努める

問

台風19号(令和元年東日本台風)被害対策は

問 44ヶ所、水田や畑など農地112ヶ所の復旧工事を計画、始まっている。しかし箇所により仮設工事となる。

町 町の補助事業も、所有者・耕作者の申請手続きが始まり、復旧工事も順次始まっている。

問 取水の頭首工被害の本工事と農地復旧は、農林課長 頭首工は13ヶ所の被害あり、水が必要になる4月までに取水は出来るよう仮設で行う箇所も、河川の復旧工事に併せて本工事を行う。

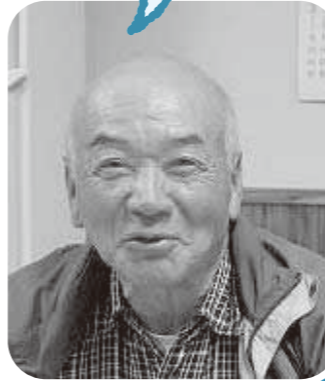
問 農地の補助事業対応と復旧状況は、農林課長 国の補助事業対象は被災農地の50%、町で業者発注し工事を行うが事業費に同じ受益者負担金が生じる。町の補助事業は耕作者が事業主で施工業者を探し復旧。対象事業費は1件5万円以上300万円以下で、

結 長野県も「2050年二酸化炭素排出実質0」を表明した。近年の豪雨災害など甚大な被害が発生していることによる。立科町も町民意識を高め、県と同様に表明することを提案する。今後益々地球温暖化も進み、大型台風が襲来する可能性もあり、今回を教訓にしっかりとした対応・対策を。

問 水道水源工事は、建設課長 温井水源周辺の擁壁工事を3月までに、国の補助対象はなし。岩下と古和清水水源は芦田川の護岸流失で災害発生、県による仮復旧が済本復旧は河川工事に併せ県と協議し進める予定。農林課長 崩れた山は民有林、適正な管理を求める。

町 町からの補助率は、事業費が200万円までが8割、それを超えた部分の事業費は9割。国補助事業の農業用水復旧は田植えに間に合うよう仮設でも行う。水田の土砂撤去や土手の工事を優先。その後、畑の復旧工事を実施。

清水良徳さん (外倉)



「スキー場はゴンドラリフトを止めたのは正解でしたね。経費も多少軽減できたかな？」



菅井瑞樹さん (飲食店経営 野方)

「年度末の総会などのキャンセルで、影響は大きいですが、こんな時こそ笑顔でがんばります。」



桜井 守隆さん (蟹原)

「新型コロナウィルスで学校が休みになり、先も見えない。学校で部活もできないし困ったと言っている。」

町民の声

新型コロナウイルスに思う...

小宮山紀彦さん (外倉)



「孫が月～金まで来て最初は良かったがペースが崩れ疲れた。私にも休業補償が欲しい。」



飯嶋優太郎さん (取材当時小学6年 桐原)

「学校が早く閉まって、どこにも行けなくて、家にいてもつまらなかった。」



上原 邦義さん (町区)

一人一人が気をつけることだね。

ご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

問 令和元年でテレワーク事業は一区切りつくとのことだが、次の方向性は決まったか。

企画課長 次の事業の交

問 令和元年でテレワーク事業は一区切りつくとのことだが、次の方向性は決まったか。

総務課長 階段横の設置スペースに、11月頃までに完成したい。

問 子育て世代の相談や細やかな声を出向いて聞くとは具体的に何を

町民課長 妊娠前から子育てまで切れ目のない支援のため『子育て世代包括支援センター』（設置予定）で対応する。

問 自主防災を早急に町内全域で整備をする

総務課長 各地区に組織化をお願いする。町も助言等積極的に係わる。

問 歳出は多く、歳入は減少傾向である。

町長 緊急性を鑑み3件程延期したが、中止し

問 歳出は多く、歳入は減少傾向である。

町長 緊急性を鑑み3件程延期したが、中止し

問 策定にあたり、担当者

企画課長 50個程の計画があり、分野も多岐にわ

問 策定にあたり、担当者

企画課長 50個程の計画があり、分野も多岐にわ

問 策定にあたり、担当者

企画課長 50個程の計画があり、分野も多岐にわ

問 策定にあたり、担当者

企画課長 50個程の計画があり、分野も多岐にわ

問 策定にあたり、担当者

企画課長 50個程の計画があり、分野も多岐にわ

問 策定にあたり、担当者

企画課長 50個程の計画があり、分野も多岐にわ

問 人口減少対策は喫緊の課題である。御代田町や南箕輪村は増えている。参考にして活用できないか。

企画課長 分析したが、政策に大きな違いはない。企業の存在や立地条件に起因するため、当町に合った対策を検討し、施策を行う。

問 付金内示は3月末。独自の受注業務増のための営業力の強化が事業内容。

農林課長 町内の全32ヶ所。防災対策や災害時の被害軽減のため作成。費用は3200万円。

問 たてしな屋の見直しは、どのような『あるべき姿』を目指して行うのか。

農林課長 遊休荒廃地への適作物の振興。大豆と南瓜スーパ用の南瓜の試験栽培をする。

問 森林資源の調査研究は、民有林の有効活用のために行われるのか。

農林課長 『森林管理経営者制度』で意欲のある経営者に集積・集約でき、民有林が有効活用できる。

問 各計画の検証・見直しを確実に行うために一元的な管理、またその管理者（担当係）が必要ではないか。

企画課長 計画に関係する事業の進捗や法令の改正等の情報が集まるのは所管課のため、一元管理をしていない。

問 職員教育のカリキュラムは過渡期ではないか。

総務課長 現状、自覚の無さ・原則が守られていないことは非常に残念。研修の内容・在り方、意識改革については検討していく必要がある。



問 旧千草保育園跡地に集められた災害ゴミは、民間で処理し350万円ほど見込んでいます。

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

返納者にスマイル交

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

問 返納者にスマイル交

町長 今後検討する。

返納者にスマイル交

問 保育園等にグリーンベルトの表示がない

町長 宇山地区にある。

問 グリーンベルトの表示をしているところ

町長 宇山地区にある。

問 グリーンベルトの表示をしているところ

町長 宇山地区にある。

問 グリーンベルトの表示をしているところ

町長 宇山地区にある。

問 グリーンベルトの表示をしているところ

町長 宇山地区にある。

問 グリーンベルトの表示をしているところ

町長 宇山地区にある。

グリーンベルトの表示

問 歩道を設けているため。

町長 宇山地区にある。

問 歩道を設けているため。

町長 宇山地区にある。

問 歩道を設けているため。

町長 宇山地区にある。

問 歩道を設けているため。

町長 宇山地区にある。

問 歩道を設けているため。

町長 宇山地区にある。

問 歩道を設けているため。

町長 宇山地区にある。

歩道を設けているため



町長 正規の4コースに
込むことが出来れば、知
名度も上がり、付
随して権現の湯の
利用増進という
いわゆる相乗効果、
これにもつながる
可能性があると私
も考えている。増
設については今の
場所を何らかの形
で詰めて有効に活
用して、コース設
定がクラブの皆様
のお知恵も借りて
出来るのか、また
他の場所に求める
のかということに
なっていくのですが
、やはり利用する
側の利便性として



あさまコース 2コース (18ホール)



たてしなコース 1コース (9ホール)

答 調査・検討をしていきたい

問 マレットゴルフ場の増設を
検討してみてもいいか



今井 健児

また訪れてくる皆様は何
だと思われないような良
さ、こういった観点を考
えますと既存のコースの
中につくればありがたい
と思っています。立科町
はご案内のとおり他の地
域と違って無料で貸し出
し、それが有意義好評

を得ているかもわかりま
せん。これからもその事
は続けていかなければい
けないだろうと考えます
と、大きな費用をかけて
やる事がいいのかわ、こ
れからもうしばらくお時
間をいただいで調査・検
討していきたい。

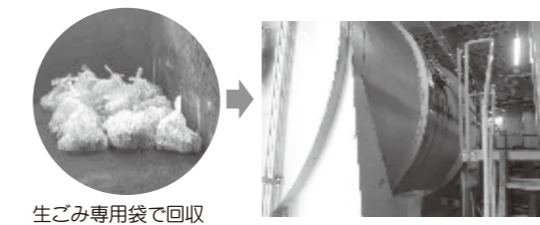
問 生ごみの堆肥化で減量化・資源化を
気候変動への対策としても重要



村田 桂子

今年12月新クリンセン
ター稼働に向けて、ご
みの減量化は喫緊の課題
地球温暖化・気候変動対
策としても可燃処理量を
減らさねばならない。特
に生ごみは可燃処理する
のではなく、堆肥化を提
案したい。

町民課長 計画投入量は、
1471tで、昨年度実
績は1658t。187
tオーバーし削減しなけ
ればならない。水絞り器
の導入で水切りの徹底
と、ごみカレンダーを再
利用し、袋をつくり雑紙
入れとして紙類の資源化
を進め、減量化のご協力
を願う。



生ごみ専用袋で回収

できた堆肥土2：生ごみ1で
混ぜられ、密閉された容器で
好気性微生物により発酵熟成



さらに3つの堆肥槽で
各々1週間熟成



出来上がった堆肥土。
多くが再び種堆肥として
利用される。

町民課長 約1千万円。
生ごみは燃やすので
なく、堆肥にして土
に戻し、資源化して減量
化したらどうか。
東御市では、環境省の
循環型社会形成推進交付
金を使って高速堆肥化施
設を建設。分別意識も高
まって、始めた当初比で、
5年間で1千tの減量化
を実現した。



水切り専用バケツ

町長 まずは水切りなど減
量化に力を入れない。
佐久市白田地域の堆肥
製産センターの場合は、
生ごみと家畜の糞尿処理
を目的として設立。生活
系と事業系、「生ごみ・畜
ふんは資源」の立場で設
立稼働している。もみ殻
も使い年700tの生ご
み等を270t製品化し
出荷している。400万
ほどの販売収入がある。
ぜひ堆肥化を。

問 移住・定住政策について



森澤 文王

町長 直接的な移住・定住
施策、子育て支援は
当然ながら重要である。
しかし、並行して立科町
独自の産業の構築、企業
誘致や近隣市町との連携
等による雇用の創出、都
市部との交流や農林資源
を活用した観光振興の取
組、環境・景観等を含め、
町に総合的な魅力が無け
れば人口減少を緩やかに
していく事は出来ない
と考えている。

町民課長 令和2年度の予算編成
において、重点指針から
移住者のための新築住宅
の補助金制度の拡充、子
育て支援として新生児へ
の聴覚検査の助成金制度
を設けている。

町長 令和2年度の予算編成
において、重点指針から
移住者のための新築住宅
の補助金制度の拡充、子
育て支援として新生児へ
の聴覚検査の助成金制度
を設けている。



りんごの花と蓼科山

町民課長 町内に住所のある小中学
生への英語検定・漢字検
定の一部助成の予算を計
上し、きめ細やかな子育
て支援と移住促進政策に
つなげていきたいと考
えている。

町長 その他に予算化してあ
るテレワーク政策、町内
の空き家対策などと総合
的な施策を通じて移住・
定住政策に繋げていき
たいと考えている。

問 地方公会計の活用あり方、
施設別・事業別セグメント分析について



榎本 真弓

町長 職員の簿記の勉強や
人材育成が必要では
ないか。

副町長 研修は年間計画
で実施している。公会計
研修は、財政担当職員が
積極的に参加していく。

町長 施設のランニングコ
ストなどを個別に検
討することで、課題や成
果をより明確にすること
が可能である。施設の統
廃合など、意思決定を行
う際にも有効な分析がで
きる。重要な資料である
と考え、しっかりと勉強
し研究していきたい。

町民課長 一般会計に含まれて
いる施設の中で、直
営の権現の湯、指定管理
の女神の里たてしな、老
朽化が進んでいる中央公

町民課長 新地方公会計の財務
書類は、現金主義会
計では見えにくいコスト
や施設の経費などを会計
的に把握でき、財政マネ
ジメント強化のために活
用できる。立科町HPに、
統一的な基準による財務
書類を、平成28年度及び
29年度決算を公表してい
る。平成29年度決算の貸
借対照表・行政コスト計
算書で分かることは、
総務課長 立科町総資産
住民一人当たり340万
円、負債56万円である。
行政コストは、年間35億
5300万円、住民一人
当たり48万円である。
(平成30年4月1日人口
7441人)



議会の動き (主なもの)



令和2年

- 1/20 長和町議会議員との研修会
- 1/22 地方自治政策課題研修会（長野市）
議会だより編集委員会視察研修（埼玉県寄居町）
- 1/23 議会運営委員会
第1回臨時会
上田地域市町村議会議員研修会（上田市）
- 1/27 小諸市・立科町・東御市議会議員研修会（東御市）
- 1/28 佐久広域連合議会議員視察研修（～30日）
- 1/31 長野県町村議長会議会運営研修会（長野市）
- 2/3 北佐久郡議会議員研修会
- 2/4 佐久市北佐久郡環境施設組合議会定例会
- 2/5 北佐久郡老人福祉施設組合議会運営委員会
- 2/12 定例全員協議会
川西保健衛生施設組合議会定例会

- 2/13～14 友好都市「愛川町」議会交流研修会（愛川町）
- 2/18 議会運営委員会
北佐久郡老人福祉施設組合議会定例会
- 2/20 佐久広域連合議会運営委員会
- 2/21 長野県町村議会議長会定期総会・
情報交換会（長野市）
- 2/25 川西赤十字病院運営協議会
- 2/26 総務経済常任委員会・
立科土地改良区との意見交換会
- 3/4～18 第1回定例会
- 3/16 佐久総合病院運営委員会
- 3/24 北佐久郡議会議長連絡協議会
白樺湖下水道組合定例会

皆様に読んでもらえる、読みやすい「議会だより」をめざします。



○議会だより編集委員が 研修に行ってきました。

「町村議会広報全国コンクール」において3年連続最優秀賞（第1位）を受賞した埼玉県寄居町議会で編集・構成の流れや発行に対する姿勢に、一同、刺激を受けてきました。

寄居町議会本会議場にて

議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会
〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)88-8413(直通) 有線2311 FAX(0267)56-2310
E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL http://www.town.tateshina.nagano.jp

編集後記

「読んでもらえる議会だより」を目指して、埼玉県寄居町役場に研修に行ってきました。町民のための紙面となるよう皆で勉強してきました。議会で考えた紙面だけでなく、町民が参加した紙面にすることが大切だと感じました。

これからは、町民が参加した紙面にしていこう努力していきたいと思えます。是非楽しんで読んでもらえる「議会だより」にしたいです。ですので、町民の皆さん一緒に紙面づくりに御協力ください。

中村 茂弘



○今後とも「議会だより」をご愛読下さい。

議会だより編集委員会

園村田 桂子 園芝間 教男

森澤 文王 今井 英昭

中村 茂弘 中島 健男

今井 健児